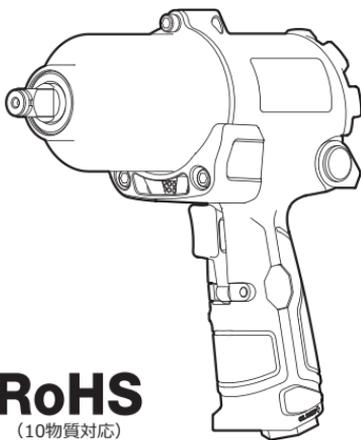


# SP LINE

## エアークパクトレンチ

# VSP-1148

### 取扱説明書



**RoHS**  
(10物質対応)



●このたびは、エアークパクトレンチVSP-1148をお買い上げいただき、ありがとうございます。●ご使用前に、この取扱説明書をお読みください。●お読みになった後はいつでも使用できるように大切に保管してください。

#### 目次

安全にお使いいただくために	..... P2	清掃／保管／アフターサービス	P13
ご使用前に／用途／仕様	..... P6	異常時の処置／	
商品の概要	..... P7	トラブルシューティング	..... P14
操作方法／使用方法	..... P8	分解図	..... P15
保守・点検	..... P12	部品表	..... P16

## 安全にお使いいただくために

### まえがき

このたびは「ベッセル エアーインパクトレンチ VSP-1148」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

エアーツールを安全に使用していただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、内容を十分にご理解の上、正しくご使用ください。

お読みになった後はいつでも参照できるように、すぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

- 安全上の注意事項は、次の見出しを掲げております。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

<b>△警告</b>	誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
<b>△注意</b>	誤った取り扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される場合。 ※「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

- 本書はご使用される方が、いつでも利用できる場所に大切に保管し、繰り返しお読みください。
- 本書および製品に貼付されている警告表示ラベルを紛失または汚損された場合は、弊社もしくはご購入の販売店を通じ、速やかにお取り寄せの上、正しく保管または貼付してください。
- 当製品を譲渡もしくは貸し出される場合は、本書を必ず添付してください。

お買い上げの製品または本書の内容についてご質問がございましたら、弊社もしくは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

**△ 警告** ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、内容を十分にご理解の上、正しくご使用ください。

**△ 警告** ■エアーツールの作動環境は

- 適正な空気圧力で使用してください。

指定空気圧力以上での使用は製品の破損・事故の原因となりますので圧力計、減圧弁等を設置して、必ず適正な空気圧力（手元動圧）で使用してください。

- エアーコンプレッサー以外の動力源を使用しないでください。

エアーツールはエアーコンプレッサーによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素・アセチレンガス・プロパンガス等）を使用すると爆発の危険があります。

- 適正なエアーホースを使用してください。

エアーホースは耐油性で外面が耐摩耗性を有し、規定内径以上の作業空気圧力に適合したものを使用してください。また、老朽化したものや極端に長いものは使用しないでください。

## 安全にお使いいただくために

- **エアークロス取り付け具は確実に取り付けてください。**  
取り付け不備によりエアークロスがはずれた場合、エアークロスの噴射によりエアークロスが飛び回り非常に危険ですので、エアークロス取り付け具はエアークロスおよびエアークロストーツルに確実に取り付けてください。

### ⚠ 警告 ■ 作業環境は

- **作業場は十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。**  
暗い作業場や散らかった作業場は事故の恐れがあります。照明等に留意し、整理整頓を心がけてください。
- **爆発の危険性のあるところでは使用しないでください。**  
エアークロストーツルは引火や爆発の恐れがある場所では、危険ですので絶対に使用しないでください。

### ⚠ 警告 ■ 作業時の服装は

- **きちんとした服装で作業してください。**  
ダブダブの服やネックレス等の装身具は着用せず、作業に適した服装で作業してください。また、長い髪の毛がエアークロストーツルにかからないように帽子等で覆ってください。
- **作業保護具を使用してください。**  
人体保護のため、作業に応じヘルメット、保護メガネ、耳栓、防塵マスク、防振手袋、安全靴等の作業保護具を使用してください。

### ⚠ 警告 ■ エアークロストーツルを使用する場合は

- **可動部に手や布きれ等を近づけないでください。**  
使用中は非常に危険ですので、可動部に手や布きれ等を絶対に近づけないでください。
- **無理な姿勢での作業は危険です。**  
エアークロストーツルを確実に保持し、突発的な動きにも対応できるようにして安定した作業姿勢で作業を行ってください。
- **不意な始動を避けてください。**  
エアークロスを接続する場合は、始動スイッチが停止位置になっているかを確認してください。またエアークロストーツルを持ち運びする場合は、始動スイッチに手をかけないでください。
- **電気に対し接触させないでください。**  
エアークロストーツルは電気との接触に対し絶縁されていませんので、電気に対し接触させないように注意して使用してください。
- **異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。**  
使用中に異常を感じた場合は直ちに使用を中止して、点検・修理を依頼してください。

## 安全にお使いいただくために

### ⚠ 警告 ■ その他

- **指定された用途以外に使用しないでください。**  
指定用途以外への使用は事故の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- **改造は絶対にしないでください。**  
改造を行っての使用は事故の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- **部品を取り外さないでください。**  
取り付けてある部品やねじ類を取り外しての使用は、事故の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- **危険が予想される場合はエアの供給を止め、エアホースをエアーツールからはずしてください。**  
使用しない、または保守点検をおこなう場合や、先端工具の交換をおこなう場合、その他危険が予想される場合は、必ずエアの供給を止め、エアホースをエアーツールからはずしてください。

### ⚠ 注意 ■ エアーツール使用時の基本的な注意事項について

- **作業は十分注意して行ってください。**  
軽率な行動や非常識な行動および疲れている場合の使用等はけがや事故の原因となりますので、油断しないで、十分注意して作業を行ってください。
- **関係者以外は近づけないでください。**  
作業場所には作業関係者以外は近づけないでください。特に子供は危険です。
- **無理な使用は行わないでください。**  
過負荷での無理な使用は、エアーツールの破損や故障の原因となりますので、能力以内で使用するようにしてください。
- **排気の方向には十分に注意してください。**  
事故や疾病の原因になりますので、排気が直接目や耳にあたらないように、排気方向に注意して使用してください。
- **エアーツールの取り扱いは丁寧に行ってください。**  
乱暴な取り扱いは事故や故障の原因となりますので、エアーツールを投げたり落としたりして、衝撃を与えないようにしてください。
- **エアホースの取り扱いは丁寧に行ってください。**  
エアホースをエアーツールの支えや、上げ下げに使用しないでください。エアホースの破損は事故の原因となります。
- **高所作業はエアーツールの落下に注意してください。**  
エアーツールの落下による事故を防止するため、高所での作業時は安全ワイヤの使用等の落下防止策を講じてください。

## 安全にお使いいただくために

- **保管にも十分な配慮を行ってください。**  
使用しない場合は、十分に手入れをおこない、子供の手の届かない、乾燥した場所に保管してください。
- **騒音に関する法条例に注意してください**  
騒音に関しては、法令および各都道府県等の条例で定める規制があります。周囲に迷惑をかけないように規制値以下で使用されることが必要です。必要に応じ、遮音壁等を設けてください。
- **適当に休憩を行ってください。**  
長時間の連続作業は疾病等の原因となりますので、適当に休憩を行ってください。また痛み等、身体に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診断を受け、その指示に従ってください。

### △ 注意 ■ 保守・点検／修理について

- **使用前には必ず点検を行ってください。**  
使用前にはねじ部の緩みや部品の損傷等がないか必ず点検してください。性能の低下や故障の原因となるばかりでなく、危険をとまなう恐れがあります。
- **保守・点検を必ず実施してください。**  
安全に効率良く作業していただくために、保守・点検を怠らないでください。
- **修理は弊社または弊社認定（指定）のサービス工場にご依頼ください。**

修理は弊社または弊社認定（指定）のサービス工場に、お買い求めの販売店または代理店等を通じ、ご依頼ください。お客様の勝手な処置により、事故や不具合が生じた場合は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ご使用前に

△注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・梱包資材の角やステープラーの針でけがをしないよう注意してください。</li><li>・開梱後、付属品が正しく入っているかご確認ください。</li><li>・取扱説明書を必ず読んで、十分理解するまで製品の操作・先端工具の交換などは行わないでください。</li><li>・取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。</li><li>・取扱説明書は、紛失しないよう大切に保管してください。紛失した時は、新しいものを改めて注文してください。</li></ul>
-----	--

## 用途

- ・本製品はボルト、ナットなどの締め／緩めを目的とした、業務用の圧縮空気駆動式インパクトレンチです。ボルト、ナットを固く締めたり、逆に固く締まったボルト、ナットを緩めるための、衝撃回転機構が備わっています。

## 安全性に関連する記号



保護メガネを  
着用してください



耳栓を  
着用してください



製品ご使用前に説明書を  
熟読してください

## 仕様

品番	VSP-1148	無負荷回転数	6,600rpm
四角ドライブ部	12.7mm	使用空気圧力	0.6MPa
能力（普通ボルト）	M14～M16	空気消費量	1.0m <sup>3</sup> /min
トルク範囲	380～550Nm	使用コンプレッサー	2.5kW以上
重量	2.5kg	使用エアースホース(内径)	9.5mm
全長	198mm		

### ●同梱品

- ・カップリング×1

△警告	<ul style="list-style-type: none"><li>・本体は水に濡れないようにしてください。また、濡れた際はすぐに水分を拭き取ってください。本体内部に水が入ると誤動作の原因になります。</li><li>・製品は以下の環境を避けて使用・保守・保管をしてください。 雨の中や湿った環境／ほこりや粉塵のある環境／油や溶剤、薬品などで汚れた環境／火花が飛散する環境</li></ul>
-----	--

## 騒音値／振動値

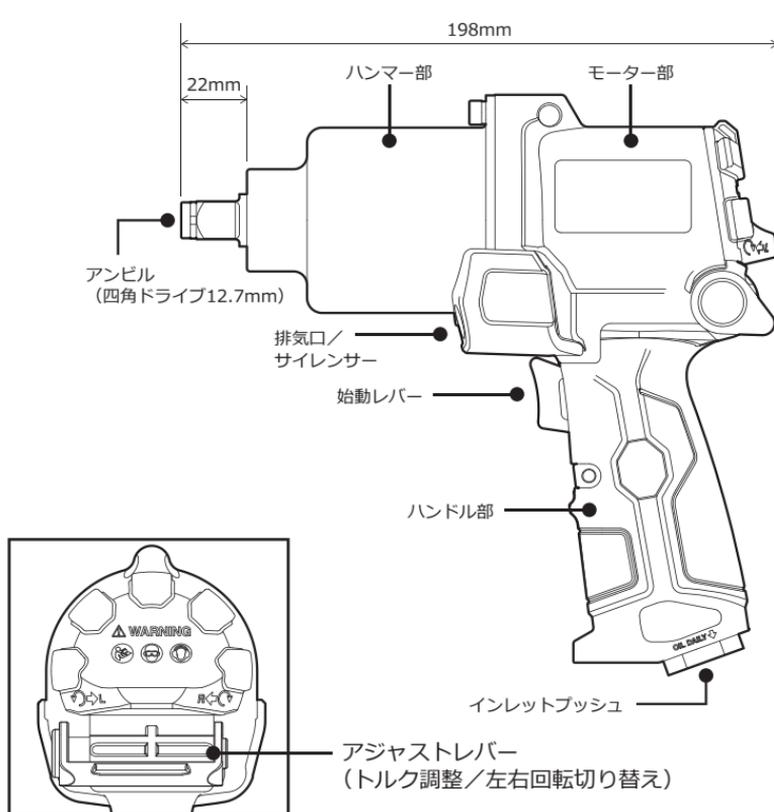
			VSP-1148
騒音値	$L_{PA}$	[dB]	96.8
	$L_{WA}$	[dB]	107.9
振動値 ahv*		[m/s <sup>2</sup> ]	11.61

### ●騒音防止規則について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所等周囲にかけないよう、状況に応じて対策し、ご使用ください。

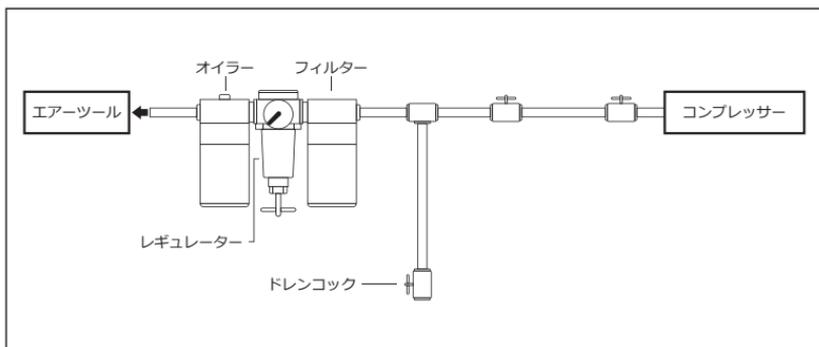
## 商品の概要

### 本体及び各部名称



## 操作方法

### 配管例



### 使用方法

- ・操作・運転について、必ず取扱説明書の手順をお守りください。
- ・以下のような使用は禁止します。
  - \*ソケットやビットソケットが正しく取り付けられていない、またはサイズが合っていない。
  - \*作業姿勢が不安定である、正しく保持できない、操作できない。
  - \*滑りやすい、安定しない環境である。
  - \*ネジ締めおよび緩め以外の用途に使用する。
  - \*改造変更、部品の不足した状態で使用する。
  - \*仕様を示されたエア圧力以上で使用する。
  - \*当製品の使用負荷を超えた条件で使用する。
- ・不使用時、不在時は、エアの供給を止め配管から取り外してください。

### 使用前の準備

<b>⚠ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・使用前に本体に変形・亀裂・破損などの異常がないか点検してください。事故やけがの原因となります。</li><li>・使用前に周囲に危険物や接近するものがないか確認し、安全を確保してください。また、周囲の人は必要に応じて保護メガネや耳栓などの作業保護具を使用してください。</li><li>・作業中の振動で倒れたり、崩れたりするものがないように固定・保持してください。</li><li>・本体を吊り下げて使用する場合は、重量やゆれによる危険がないか確認してからご使用ください。</li></ul>
-------------	---

#### ● 購入後最初の始動

購入後最初に本機を取り付ける時や、ホースをとりかえた時は配管内、ホース内のゴミを十分吹き去ってから本機を取り付けてください。また本機内のオイルが排気と共に吹き出しますので、数秒間空転を行ってください。

## 使用方法

△ 注意 ・注油には指定のオイルのみを使用してください。

### ●モーター部への給油

モーター部の潤滑と不純物排出のため、給油を行ってください。  
ルブリケーターを配管に取り付けて自動滴下で供給すると便利です。または使用前と使用後にエアー供給口より手差しで給油してください。(使用オイル：ISO VG10相当の作動油)

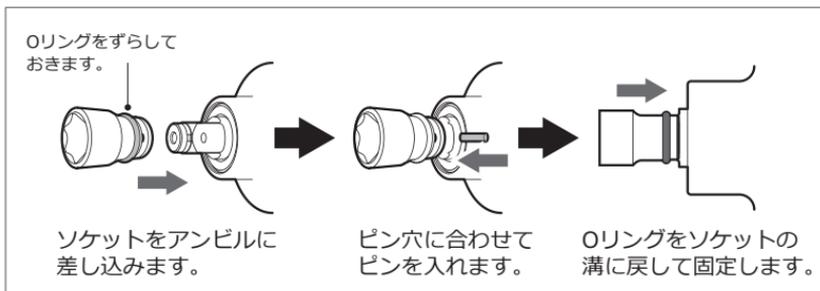


### ●先端工具の取り付け

△ 警告 ・先端工具の交換や保守を行う際は、エアーホースを外して作業してください。意図しない動作でけがをする恐れがあります。  
・ソケットは動力工具用のものを使用し、手動工具用のものは使用しないでください。ソケットの破損、メッキ剥がれ、破片の飛散により事故・けがの原因になります。

△ 注意 ・ソケットは取扱説明書にしたがって、確実に取り付けてください。  
・ソケットは複数個を連結して使用しないでください。  
また、作業ごとに適したサイズのソケット一つを使用してください。

アンピルの先端（四角ドライブ部）にピン穴があります。これはソケットのピン穴と位置を合わせてピンとOリングで固定するためのものです。下図を参照にしてください。



### ●使用空気圧力の確認

当製品の使用空気圧力は0.6MPaです。仕様以外の圧力で使用しますと、性能や寿命、安全性に影響しますので、必ずお守りください。

## 使用方法

### ●ドレンの除去

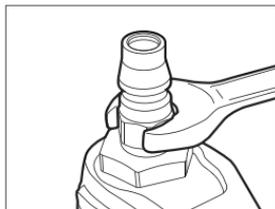
水分や配管内の錆などの不純物が当製品に入りますと、故障の原因となります。コンプレッサーに溜まったドレンは使用前後に必ず除去してください。また、乾燥した正常なエアを当製品に供給するため、必ずエアフィルターを取り付け水分と不純物を取り除いてください。

### ●ホースの選定

エア供給用のエアホースのサイズは仕様をご参照ください。エアホース内径が小さいと圧力降下により十分な能力が発揮できません。またホースが長すぎても同様に圧力降下が発生しますので、ご注意ください。

### ●プラグの取り付け

インレットブッシュをスパナで固定し、プラグを締め付けてください。



### ●エア継ぎ手

付属のエア継ぎ手を使用する場合は、互換性のあるエア継ぎ手をご購入の上接続してください。当製品に直接ホースを取り付ける場合は、別途市販のホース接続継ぎ手をご購入ください。どちらも、接続するホースのサイズをお確かめください。

### ●回転方向の切り替え

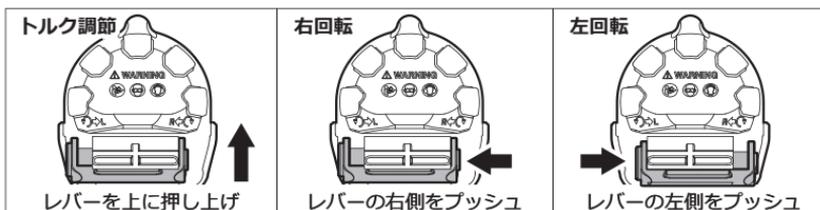
アジャストレバーを「R」側にスライドすると右回転、「L」側にスライドすると左回転します。

### ●トルクの調節

アジャストレバーを上下させることで、トルクを調整できます。一番下が「1」で最小、一番上が「3」で最大です。

※始動レバーを引いている時にアジャストレバーを操作しないでください。

※左回転はトルクの調節ができません。



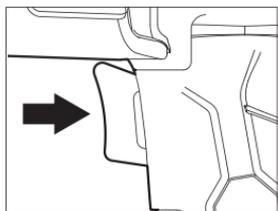
## 使用方法

### 使用

- |             |  |
|-------------|--|
| <b>△ 注意</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・回転部に手を触れないでください。けがの原因となり大変危険です。</li><li>・先端工具をつけて、無負荷での回転は行わないでください。</li><li>・回転方向を確認してから、製品を起動してください。</li><li>・排気の向きに注意してください。排気が直接目や鼻、口に当たらないよう、方向に注意して使用してください。（排気口の位置は7ページの「本体及び各部名称」）でご確認ください。</li><li>・排気を火気に向けしないでください。排気には油が含まれており危険です。</li><li>・作業中、摩擦で先端工具やねじが熱くなりますので、すぐに触らないでください。</li><li>・異常発生時はすぐにエアーを遮断し、作業を中止してください。</li></ul> |
|-------------|--|

#### ● 始動と停止

1. エアー継ぎ手を接続します。
2. コンプレッサーよりエアーを供給します。
3. 始動レバーを引くと、作動します。
4. 始動レバーを戻す（離す）と、停止します。
5. 始動レバーの引き量が多いと高速回転し、引き量が少ないと低速回転します。



#### ● ボルト・ナットの締め付け

ボルト・ナットの締め付けは、手で1～2山入れてから本機で締めてください。締め付け完了後には直ちにレバーを離し、回転を止めてください。続けるとボルトがねじ切れたり、ハンマー部品の破損を早めます。

#### ● ボルト・ナットが緩まない時

ボルト・ナットが緩まない時あるいは必要トルクに締まらない時は、より大きい能力のインパクトレンチが必要です。

#### ● 目的以外の使用

本体の破損の原因になりますので、ぶつけたり、叩いたりしないでください。

また有機溶剤につけたりすると、変形しますのでご注意ください。

#### ● 寒冷地での使用

冬季には、内部に溜まった水分が凍結する場合があります。使用後には必ず注油し水分を除去してから保管してください。

## 保守・点検

- |             |   |
|-------------|---|
| <b>△ 警告</b> | ・点検を行う際は、必ずホース継ぎ手ははずし、エアーが供給されていない状態で行ってください。 |
|-------------|---|

- ・安全に安心してお使いいただくため、定期的に点検を行ってください。点検を怠りますと、製品の性能や寿命・安全性に影響します。
- ・点検（保守）は、本製品の取扱説明書をよく読み熟知した方以外は行わないでください。
- ・修理は、ご購入の販売店にご依頼ください。ご自身では行わないでください。
- ・使用頻度により部品の耐久性は異なります。
- ・打撃音、回転音に異常がある場合（打撃リズム等通常と異なった場合、作業効率が低下した場合、希望のトルクで締まらなくなった場合）等は点検修理を依頼してください。また打撃音に異常がある場合は振動値も大きくなっている場合がありますので点検修理を依頼してください。

### 製品の点検

#### ●アンビル（先端の四角ドライブ部）

- ・磨耗…性能低下、能率低下になります。早めの交換をお勧めします。
- ・亀裂…折損の恐れがあり危険ですので、使用を中止し修理を依頼してください。

#### ●ホース継ぎ手

- ・ネジの緩み…ホース外れにより危険ですので、締めなおしてください。
- ・磨耗…継ぎ手の接続が緩み、外れる場合がありますので新品と交換してください。

#### ●始動レバー

- ・戻り具合…正しく戻るかどうか確認してください。戻らない状態で使用すると接続した瞬間に作動を始めるので大変危険です。修理を依頼してください。

#### ●各部ボルト

- ・緩み…エアー漏れや作動不良の原因となります。締めなおしてください。

#### ●表面の傷

- ・亀裂…破損・飛散の恐れがありますので、使用を中止し修理を依頼してください。

### ソケットの点検

#### ●ソケット（ビット）

- ・四角部・六角部の磨耗…性能低下、アンビルからの抜け落ちの原因となります。
- ・亀裂…破損・飛散の恐れがありますので、使用を中止し新品と交換してください。

## 清掃

- |     |   |
|-----|---|
| △注意 | <ul style="list-style-type: none"><li>・製品内部に液体を侵入させないでください。</li><li>・定期的に清掃し、きれいに保ってください。</li><li>・清掃に薬品や溶剤を使用しないでください。</li></ul> |
|-----|---|

### ●清掃方法

- ・乾いた布、もしくは石鹼水に浸してよく絞った布を使い、きれいに拭いてください。
- ・ガソリンやアルコール、ベンジン、シンナー、ケトン類（アセトン等）、エーテル類、および他の類似の化学物質は、清掃に使用しないでください。変色や変形、ひび割れの原因になります。

## 保管

- |     |                               |
|-----|-------------------------------|
| △注意 | 製品が落下しないように、安定した置き方で保管してください。 |
|-----|-------------------------------|

### ●保管

- 以下の環境を避けて保管してください。
  - ・直射日光が当たる場所
  - ・高温の環境
  - ・結露、凍結の可能性がある環境
  - ・子供の手が届く場所

## アフターサービス

- ・本機の性能、品質または取り扱いなどについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または当社へご連絡ください。
- ・修理に必要な部品は15ページから掲載されている分解図に記載された、部品番号、部品名を確認してください。
- ・修理等は下図の経路でご送付ください。直接当社へ送付されるとかえって遅れますので避けてください。

ユーザー → 販売店 → 当社

分解図とスペアパーツに関する情報は、<https://spair.vessel.co.jp/>でご覧いただけます。

製品の故障や修理、保守は、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。

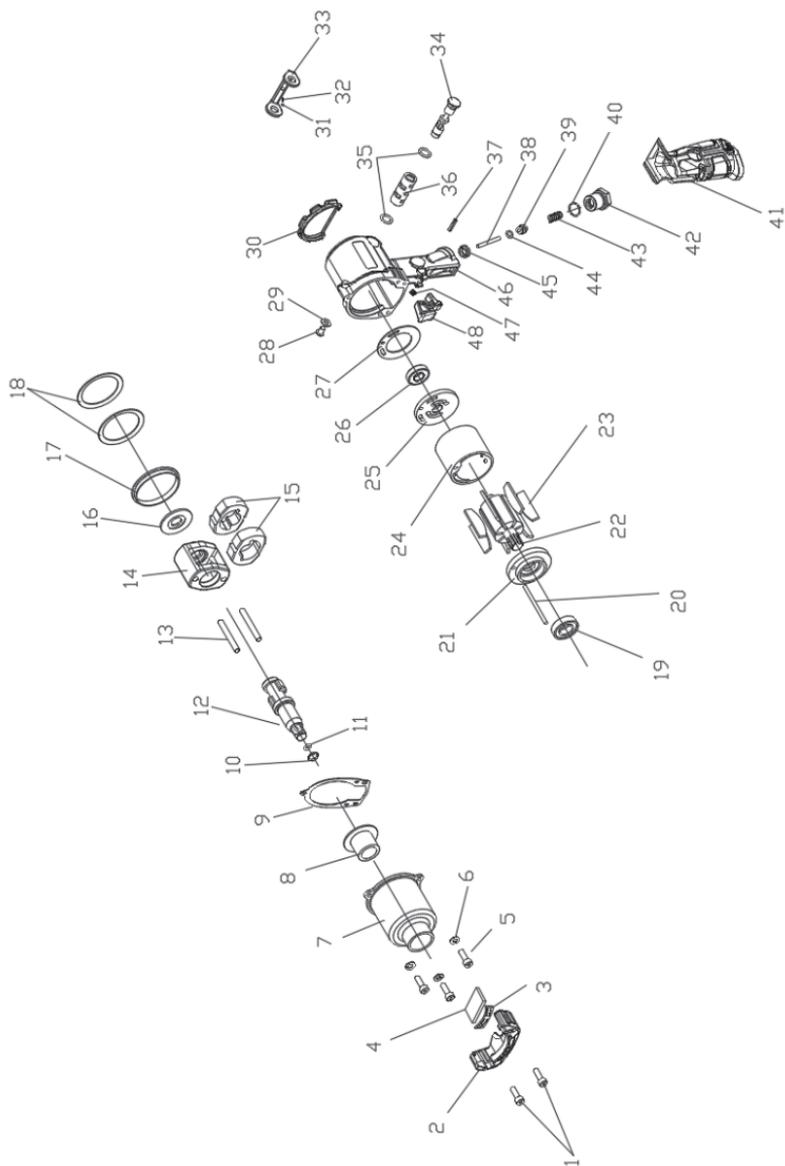
## 異常時の処置／トラブルシューティング

<p><b>△ 警告</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インパクトレンチ本体は、分解や修理、改造をしないでください。</li> <li>・製品の修理はお買い上げの販売店、または当社までご相談ください。</li> </ul>
--------------------	---

症状	原因	処置
回らない	エアーがきていない	→エアーの開栓
	ホースがねじれている	→ホースをのぼす
	エアー圧が低い	→エアー圧力調整
	注油不足による部品の錆	→注油／分解調整
	ごみの混入	→分解調整
	モーター部・ハンマー部の故障 (磨耗・破損等)	→部品交換
回転にムラがある	エアー流量が不足している	→エアー流量確認
	エアー圧が低い	→エアー圧力調整
	注油不足による部品の錆	→注油／分解調整
回転が止まらない	バルブの破損	→部品交換
	スロットルの変形	→部品交換
	スロットル部に異物混入	→分解調整
左右切替レバー兼 アジャストレバーが固定 されない	止スプリング、止ボールの 磨耗・破損・錆（止ボールが 出ない）	→部品取り付け
	錆・ごみの混入	→分解調整
左右切替レバー兼 アジャストレバーで調整 できない		
エアー漏れがする	バルブ部の異常（Oリング、スプリ ングの磨耗・破損・錆）など	→部品交換
異音がする	各部の緩み	→分解調整
	ベアリングの磨耗・破損	→部品交換
	ハンマーケースや衝撃部の破損	→部品交換
	ローターブレードの磨耗・破損	→部品取り付け
	ローターブレードが回転時にでない	→部品取り付け
	注油・オイル切れ	→注油／分解調整
無負荷では回るが、負荷 がかかった時に止まった り力が落ちたりする	ハンマー部部品の磨耗・破損	→部品交換
水がでる	ドレンが溜まっている	→ドレン除去

不良や異常のままでの使用した場合、製品の故障や事故の原因となりますのですみやかに修理を依頼してください。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

分解图



## 部品表

部品番号	部 品 名 称	サ イ ズ	1台数量
1	六角穴付ボルト M5×15	M5x15L	2
2	排気カバー		1
3	排気プレート		1
4	フィルター		1
5	六角穴付ボルト M5×18	M5x18L	3
6	スプリングワッシャー M5	M5	3
7	ハンマーケースCP		1
8	スピンドルブッシュ (番号7に内蔵)		1
9	ハンマーケースガスカート		1
10	リテーナーリング (番号12に内蔵)		1
11	Oリング (番号12に内蔵)		1
12	アンビル CP		1
13	ハンマーケージピン		2
14	ハンマーケージ		1
15	ハンマー		2
16	ハンマーケージワッシャー		1
17	パイロットリング		1
18	サラバネ		2
19	ベアリング 16002Z	16002Z	1
20	ドゥエルピン		1
21	フロントエンドプレート		1
22	ローター		1
23	ローターブレード		7
24	シリンダー		1
25	リアエンドプレート		1
26	ベアリング 6001RS	6001RS	1
27	モーターガスカート		1
28	極低頭六角穴付ボルト M6×6	M6x6L	1
29	ヒラワッシャー M6	呼び6	1
30	リアカバー		1
31	止ボール	φ3mm	1
32	止スプリング		1
33	アジャストレバー		1
34	リバースシャフト		1
35	Oリング P10	P10	2
36	リバースブッシュ (番号47に内蔵)		1
37	スプリングピン SP4×48	φ4x18L	1
38	スロットル		1

部品番号	部 品 名 称	サ イ ズ	1台数量
39	バルブ		1
40	Oリング		1
41	ハンドルカバー		1
42	インレットブッシュ		1
43	バルブスプリング		1
44	Oリング		1
45	バルブシート		1
46	モーターハウジング CP		1
47	六角穴付止ネジ (番号46に内蔵)		1
48	始動レバー		1

〈 〉印につきましては内蔵部品ですので、ご注文の際はご注意願います。

●本書の内容は予告なく変更することがあります。





## 検査合格証

製造番号

本機は性能およびその他の出荷検査をした後出荷されております。  
本機が性能を発揮するために、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

検査：



**VESSEL Co., Inc.**

# 株式会社ベッセル

お客様お問い合わせ窓口

**06-6976-7771** 8:30-17:30 ※平日の12:00～13:00、土・日・祝日・夏期休暇・年末年始は除きます。

本社	〒537-0001	大阪市東成区深江北2丁目17番25号	TEL.06-6976-7771	FAX.06-6971-1309
札幌出張所	〒065-0011	札幌市東区北11条東14丁目1番1号	TEL.011-711-5003	FAX.011-704-4725
仙台出張所	〒984-0002	仙台市若林区卸町東1丁目2番10号	TEL.022-236-1567	FAX.022-232-7959
北関東営業所	〒370-0044	群馬県高崎市若押町27番6	TEL.027-310-3757	FAX.050-3852-2745
東京支店	〒143-0025	東京都大田区南馬込5丁目43番13号	TEL.03-3776-1831	FAX.03-3776-5607
名古屋営業所	〒457-0014	名古屋市南区呼統四丁目3番1号	TEL.052-821-9575	FAX.050-3606-2649
大阪支店	〒537-0001	大阪市東成区深江北2丁目17番25号	TEL.06-6976-7772	FAX.06-6971-1309
広島出張所	〒733-0035	広島市西区南観音7丁目8-11	TEL.082-291-0106	FAX.082-295-1727
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南6丁目1番22号	TEL.092-411-5710	FAX.092-411-5770